



志木二中だより

「勇気」 前に向かう強い心をもつ生徒

「信頼」 静かに考え他を認め励ます生徒

令和4年度4月号
令和4年4月8日(金)
志木市立志木第二中学校
志木市館 1-3-1
TEL:048-473-2379

「成長を実感し続けていくことができる学校」を目指して

校長 三杉 紀文

春風に桜花舞い散る中、令和4年度が始まりました。

この度、志木第二中学校に校長として着任しました三杉 紀文（みすぎ のりふみ）と申します。伊奈町立南中学校からまいりました。どうぞよろしくお願いいたします。

始業式でも話したのですが、実は、着任に先立ち、私は3月30日に志木市民会館パルシティで開催された本校吹奏楽部の定期演奏会に観客として混じらせていただきました。私にとって驚きの演奏会でした。まず来場した観客数の多いこと。本校吹奏楽部単独の演奏会で、市民会館の座席が埋まり、後から来た方は席を探すのが大変そうでした。そして、演奏の迫力とハーモニーの美しさ。コロナ禍を思えば、よほど工夫して練習したのだろうと推察できました。部長と副部長の決意表明も立派でした。その時、私はすごい学校に来ることになったぞと嬉しく感じるとともに、心も体も引き締まる思いがしました。今までの志木第二中学校のよさを継承し、コロナ禍を乗り越えて新たな時代に向けた教育活動にチャレンジしてまいります。

具体的には、学校教育目標「勇気 信頼」を継承しながら、目指す学校像を今年度新たに「生徒が成長を実感し続けていくことができる学校」としました。学校は、安心・安全を大前提としながら、学び舎である以上、そこに通う生徒たちに成長があってこそ学校です。成長とは、単に知識獲得にとどまらず、AIの進化や新型コロナウイルス感染症の感染拡大など予測困難な社会の変化に主体的に対応できる力を生徒たちに育成していくことです。そのためには、社会の変化に対応して私を筆頭にすべての教職員が成長し続けていく必要があります。さらにそうした成長を自ら実感し、自己肯定感を高めるところまで達した時、本質的に「学校が楽しい」と感じられると考えます。志木第二中学校は、こうした学校を目指してまいります。

このことにあたり、学校教育、家庭教育、そして地域の教育が連携して子どもたちの教育を推進していくことが、最も教育効果を高めることができます。そのために学校はできるだけ情報の発信に努めます。ご家庭でもお気づきの点がございましたら、学校へご相談ください。皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

最後になりますが、一人一人の生徒が成長できるよう、すべての教職員が成長し、指導にあたるよう努めます。何より私自身が「成長」できるよう邁進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。